

第 65 回 日本臨床化学会年次学術集会

集会長：齋藤邦明（藤田医科大学副学長）

会期：2025 年 11 月 7 日（金）～9 日（日）

会場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）

〒450-0002 愛知県名古屋市名東区名駅4丁目4-38

参加費：参加区分で金額が異なります。学術集会ホームページを参照してください。

※更新セミナー参加は、学術集会参加が必須です（学会参加費のみ）。

参加登録、アクセス、他詳細は、学術集会ホームページを参照してください。

第 65 回日本臨床化学会年次学術集会ホームページ <https://square.umin.ac.jp/jscc2025/>

認定臨床化学・免疫化学精度保証管理技師登録更新申請 実施要項は、日本臨床衛生検査技師会ホームページを参照してください。

日本臨床衛生検査技師会ホームページ <https://www.jamt.or.jp/studysession/center/system05/>

「認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師・管理者」制度更新セミナープログラムおよび取得単位

【第 1 日目：11 月 7 日（金）】

12:40～14:40 シンポジウム2（第4会場）、A-5単位

JSCC常用酵素CRM-001値付けのための用手法の技術継承について

「課題、課題解決のための現在の取り組みおよび理想像」

座長：内海 健（九州大学大学院医学研究院）、谷本 和仁（富士フイルム和光純薬株式会社）

企画：酵素試薬専門委員会

S2-1 JCCLS CRM-001認証値設定のためのJSCC常用基準法の実施における課題

山舘周恒（（公益社団法人）日本臨床検査標準協議会認証評価委員会）

S2-2 病院検査部における現在の取り組み

堀田多恵子（国際医療福祉大学成田病院検査部）

S2-3 酵素標準物質の認証プロセスに関する国内外の状況

植田 成（公益社団法人日本臨床検査標準協議会）

S2-4 産業界から見たJSCC常用酵素CRM-001値付けにおける課題と対策

新井 堅仁¹、望月克彦²（1（一社）日本臨床検査薬協会技術委員会（関東化学株式会社 診断試薬技術部）、2（一社）日本臨床検査薬協会）

S2-5 試薬メーカーの立場から

中尾友作（株式会社シノテスト R&Dセンター）

S2-6 検査値の信頼性を支えるJSCC常用基準法の継承

末吉茂雄（（一社）日本臨床衛生検査技師会（女子栄養大学 栄養学部））

12:40～14:40 シンポジウム3（第5会場）、C-5単位

質量分析による臨床化学研究の最前線

座長：恵 淑萍（北海道大学大学院保健科学研究院）、三枝大輔（帝京大学 薬学部）

共催：一般社団法人日本医用マススペクトル学会

S3-1 LC-MS/MS を活用した疾患関連脂質の高感度分析

前川正充、眞野成康（東北大学病院薬剤部）

S3-2 リピドミクスを用いるミトコンドリア膜及び機能評価

櫻井俊宏¹、益子真明¹、櫻井知子¹、村上奈々緒¹、佐藤浩志²、千葉仁志³、恵 淑萍¹

（1北海道大学大学院保健科学研究院、2日生バイオ株式会社、3札幌保健医療大学）

S3-3 プロテオミクス・メタボロミクスを軸としたがん放射線耐性機序解明と新規治療法探索

金光祥臣^{1,2}、幡野敦²、松尾美波²、松本雅記²

（1新潟大学医歯学総合病院薬剤部、2新潟大学院医歯学総合研究科オクス生物学分野）

S3-4 神経変性疾患患者由来iPS 細胞を用いた代謝変容解析

葛巻直子、成田 年（星薬科大学薬理学研究室）

【第3日目：11月9日（日）】

9:00～11:00 シンポジウム6（第2会場）、B-5単位

臨床検査におけるピットフォール事例報告・討論会2025

座長：石嶺南生（信州大学医学部附属病院 臨床検査部）、中沢隆史（株式会社日立ハイテク）

企画：ピットフォール専門委員会

S6-1 ピットフォール研究専門委員会活動報告2025

三好雅士（徳島大学病院 医療技術部）

S6-2 検査前工程の溶血減少のための取り組みとその効果の事例紹介

赤羽あゆみ、甲田祐樹、長倉貴樹、市村直也（東京科学大学病院検査部）

S6-3 検査工程におけるピットフォール回避の取り組み ―反応タイムコースの活用―

竹林史織¹、山下計太¹、前川真人²

（1浜松医科大学医学部附属病院 検査部、2浜松医科大学）

S6-4 検査後工程におけるピットフォール回避の取り組み「データ判読時のチェックポイント」

鈴木晴媛^{1,2}、宇佐美陽子¹、石嶺南生¹

（1信州大学医学部附属病院 臨床検査部、2信州大学大学院 総合医理工学研究科）

S6-5 当施設で認めた尿中クレアチニン異常反応における原因の検証

岡倉勇太（株式会社TLC 戸田中央臨床検査研究所）

S6-6 治療薬物による臨床検査値への影響

藤本一満（日本電子株式会社 ME事業部）

9:00～11:00 アカデミア・臨床・企業懇話会連携シンポジウム（第3会場）、B-5単位

臨床化学検査の価値創造：医療現場と産業の共創

座長：大川龍之介（東京科学大学 大学院医歯学総合研究科臨床分析・分子生物学分野）

高妻 卓司（ナガセダイアグノスティックス株式会社 診断薬事業部 キット製品部）

連携シンポ2-1 体外診断用医薬品開発におけるキーププロセス

～より良いラテックス試薬開発のために～

村上裕輔（栄研化学株式会社研究開発統括部 生物化学研究所 第一部第一課）

連携シンポ2-2 生化学自動分析装置の開発プロセスと共同研究の現状と課題

寒河江望¹、飯島昌彦¹、牛久恵美子¹、井口晃弘¹、平間宏美¹、中沢隆史²

(1株式会社日立ハイテク ヘルスケア事業統括本部 診断システム事業 部 那珂診断製品本部
医用アプリケーション開発部、2株式会社日立ハイテク ヘルスケア事業統括本部 ヘルスケアソリューション事業部 ヘルスケア事業戦略本部 臨床検査ソリューション部)

連携シンポ2-3 制約だらけの研究環境で何ができるか

中川央充 (慶應義塾大学病院 臨床検査科)

連携シンポ2-4 中小病院・大学病院が抱える産学連携の共創への悩みー管理者の視点からー

山下計太 (浜松医科大学 医学部附属病院検査部)

11:10～12:10 特別講演 (第1会場)、C-5単位

腎臓病のバイオマーカー：共生細菌叢とキラルアミノ酸からの視点

座長：三井田孝 (順天堂大学医療科学部臨床検査学科)

演者：和田隆志 (金沢大学腎臓・リウマチ膠原病内科学)

本更新セミナーでは、受講証明書が発行されます。受講証明書の配布は、会場前にて、開始前 15分から開始まで、回収は終了後 (早く終了した場合は終了時間まで部屋で待機) です。同じ書式の上下2部構成になっていますので、必要事項を記載し、終了予定時刻以降に、受講証明書の下半分を切り取ってご提出ください。お手元に残る受講証明書の上半分は、更新手続きの際の参加証明になりますので、それまで紛失しないよう大切に保管してください。

更新セミナーに関する問い合わせ先：

一般社団法人 日本臨床化学会 事務局

TEL：03-6367-6225

FAX：03-6367-6235

E-Mail：jscc@mc-i.co.jp